

平成31年度予算見積調書

課室名：先端産業課
 担当名：総務・企画担当、推進担当
 内線：3776 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B53	ロボットプロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	なし				宣言項目 08 稼ぐ力の向上	
							分野施策 040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業の概要 先進技術の基盤となるロボット・AI・IoTの研究開発・実用化や導入、人材育成を行う。 (1) ロボット研究開発支援事業 102,525千円 (2) ロボット人材育成事業 7,075千円 (3) AI・IoT技術支援事業 31,500千円 (4) AI・IoT普及・活用支援事業 49,855千円 (5) AI活用機器開発支援事業 175,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ロボット研究開発支援事業 102,525千円 (ア) ロボットビジネスコンソーシアム運営事業 産学官による情報共有や交流の場である交流会、県公社による研究会及びシーズマッチング会を開催する。 (イ) 研究開発支援事業 a ロボット先端製品開発に対する補助 15,000千円×4件 b ロボット開発実証フィールド運営 開発したロボットの実証試験を行う場を提供する。 c 相談・事業化支援 県公社にアドバイザーを配置し、各種支援を実施する。 d 埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)による研究開発 SAITEC主導で企業との研究開発を実施する。 (ウ) 販路開拓事業 開発したロボットの販路開拓を支援するため、出展スペースを提供する。 イ ロボット人材育成事業 7,075千円 ロボットの要素技術・ビジネス化についてを講義や実習を通して学び、開発や事業化のための人材を育成する。 ウ AI・IoT技術支援事業 31,500千円 SAITEC内に先進的なAI故障診断システム、生産管理システムを構築し県内中小企業におけるスマートものづくり基盤の構築を支援する。 エ AI・IoT普及・活用支援事業 49,855千円 県公社内にコーディネータを設置し、県内中小企業のAI・IoT技術の活用支援、技術者育成を実施する。 オ AI活用機器等開発事業 175,000千円 AI等活用機器・システムの開発や実証を支援し、企業参入の促進を図る。 (2) 事業計画 H31年度～ 交流会・研究会の運営、研究開発支援、技術支援、普及・活用支援 (3) 事業効果 ロボット分野の研究開発を進めることで、本県にロボット関連の人材や技術を結集し企業集積につなげる。 AI・IoTの導入や人材育成支援により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 AI・IoTに関する知識や技術を持つ県職員による技術指導のほか、(公財)埼玉県産業振興公社や産業技術総合研究所、県内大学等と連携して事業を実施する。				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (1) (3) (県10/10)事業者(公社含む) 0 (1) (2) (4) (5) (県2/3)事業者1/3 (1) (県2/3)公社0・事業者1/3 (4)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.5人=52,250円								
				財 源 内 訳				
予算額		繰入金	諸収入				一般財源	前年との対比
決定額	365,955	365,407	548				0	△65,711
前年額	431,666	431,103	563				0	